

バレーボール・ネーションズリーグ：「日本—カナダ」で始球式 !!

令和6年6月13日（木）、北九州市・西日本総合展示場で開催されている「バレーボール・ネーションズリーグ2024」の予選ラウンド、女子「日本—カナダ」戦で、当協議会の藏内勇夫会長（日本獣医師会会長、世界獣医師会次期会長）は、始球式を行いました。

試合は、世界ランキング6位の日本は、同10位カナダに2-3で逆転負け。パリ五輪切符は、次戦以降に持ち越しとなりました。



藏内勇夫会長



真鍋政義監督



【バレーボール・ネーションズリーグ2024（VNL2024）】

世界のトップチーム男女各16チームが毎年最大14カ国で8週間にわたって競い合う世界最高峰のエリートバレーボール大会です。

VNL2024は、本大会の予選ラウンド終了時点のFIVBバレーボール世界ランキングによってパリ2024オリンピックの出場が決定する重要な大会です。

現在までに開催国であるフランスに加え、女子は、ブラジル、ドミニカ共和国、ポーランド、セルビア、トルコ、アメリカが出場を決め、VNL2024は、残り5枚のパリオリンピックのチケットをかけた最後のチャンスとなります。

「バレーボール・ネーションズリーグ2024」福岡開催決定にあたり、 国際バレーボール連盟事務総長：「ワンヘルス」の取り組みなどを評価 !!

バレーボール・ネーションズリーグ2024（VNL2024）の男子第2週、女子第3週の決定にあたり、令和6年1月31日（水）、ファビオ・アゼベト国際バレーボール連盟（FIVB）事務総長、金川裕一日本バレーボール協会（JVA）副会長、服部誠太郎福岡県知事らが福岡県庁において会見を行いました。



ファビオ事務総長 服部知事

ファビオ事務総長は、当初千葉県開催が発表されていたが、福岡開催に決定した経緯として、「千葉県は候補のひとつであったが、正式な発表ではなかった。今回が初の正式なアナウンスとなる。」と説明をした上で、「福岡はワンヘルス（人の健康、動物の健康、環境の健全性を一つの健康と捉え、一体的に守っていこうという取り組み）を発信していることが重要な決め手のひとつとなった。女子日本代表にとっては五輪出場権がかかった大会であり、それをホームでできることは素晴らしいこと。」と語られました。

服部誠太郎知事は、「福岡県で開催をする重要な決め手のひとつが、ワンヘルスの取組が進められていることだと話がありました。私達、福岡県としては、このワンヘルス、ヒトの健康と動物の健康と人も動物も共に暮らす地球の環境の健全性、この三つのものを一つのものとして守っていこうというワンヘルスというものを県政において重要な施策として推進をしているところです。我々が3年半にわたり苦しめられてきたCovid-19、この人獣共通感染症の次なるパンデミックの備えとしてもワンヘルスは極めて重要です。これが今大会の意義の一つとして掲げられたことは大変うれしく思います。」と喜びを語られました。

2024年6月14日

福岡ワンヘルス協議会・事務局